

上手な審判員になる方法

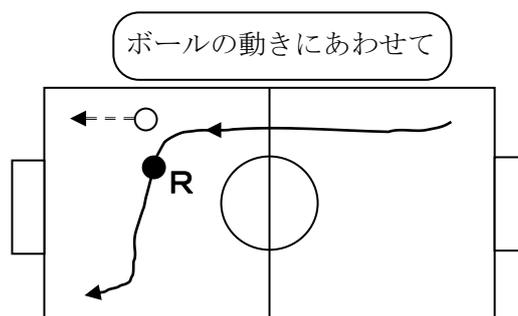
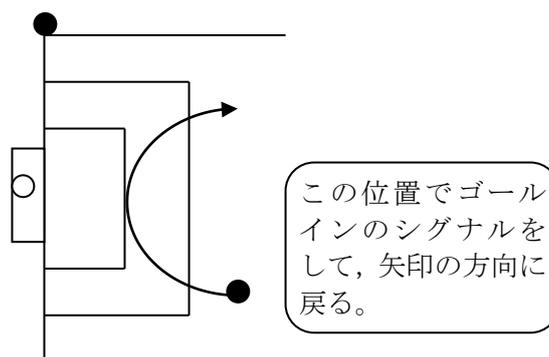
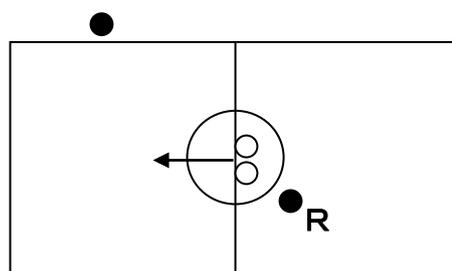
下都賀少年サッカー連盟審判委員会

1. 基本的事項

- (1) 競技規則をしっかりと読んでください。「審判員のための実践的ガイドライン」のところもよくお読みください。変更点も多くあります。
- (2) 選手の体には、基本的には触れないようにしてください。けがをしている場合も交代の際に中に入る場合も、触れないようにしましょう。副審がフラッグで指しながらスパイクのポイントを確認するというのもいけません。
- (3) 小学生であっても、選手です。命令的、威圧的な言い方はしないようにしましょう。
- (4) 審判員はチームです。お互いを信頼し、常にアイコンタクトを行ってください。

2. 主審の基本的ポジショニング

- (1) 試合開始のホイッスルは、キックオフをする選手のななめ後ろから、センターサークルをはさんで、副審が見える位置で吹いてください。
- (2) 基本的には、ボールがある位置を中心として7~14mぐらいにいてください。7mというのは、センターサークルの半径の大きさです。これは、少年の試合でフリーキックの際に相手選手が離れる距離でもあります。
- (3) ゴールインの瞬間をペナルティーエリア付近で確認してください。シュートが打たれた時は、ゴールに近づく動きをして、副審とアイコンタクトをして、止まってシグナルを出し、走ってキックオフのポジションに戻ります。
- (4) 副審側のボールでも必ずその方向に寄ってください。対角線を、帯のように考えて広く動きましょう。
- (5) コーナーキックの際は、副審と逆サイドのペナルティーエリア内にいてください。どちら側のコーナーキックでも主審の位置取りは一緒です。

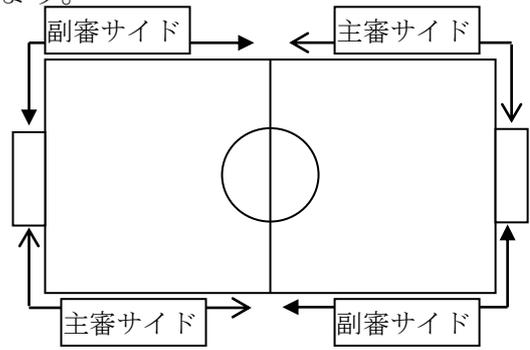


3. 副審に関すること

- (1) オフサイドラインは、100%キープをお願いします。直接ゴールをねらえそうなフリーキックでも、オフサイドラインキープです。
- (2) オフサイドポジションにいる選手がプレーしたか触れた瞬間、オフサイドの判定をします。味方がボールをプレーした時、「この選手がプレーに関わったらオフサイドだ」とシミュレーションしていると、間違いにくくなります。
- (3) 副審側のペナルティーエリア外でファウルがあった場合は、主審の判定と食い違

わないようにしながら、サポートしましょう。

- (4) 主審サイド、副審サイドがあります。アウトオブプレーは、主であるほうが先に判定し、シグナルしましょう。主審サイドは、しっかり主審が判定し、副審に頼りすぎることがないようにしましょう。副審サイドの時は、副審はすぐに方向をさし、主審が合わせます。



4. 第四の審判員（第四審）に関すること

- (1) ベンチのコントロールをしてください。判定に対する異議を示す言動や行動は、全て声をかけに行きましょう。審判員を侮辱するような言動があった場合には、時間と発言内容を記録し、アウトオブプレーで主審に伝え、退席を命じてもらいます。
- (2) 警告、退場の選手が出た場合には、必ず番号と時間、わかる範囲で犯した違反を記録してください。
- (3) けが人が出た場合には、そのチームのベンチ近くまで行き、チーム関係者が誤って入らないようにしてください。主審の合図があったときに、その人数だけ入るように指示してください。
- (4) ボールが大きくゴールラインやタッチラインから出て行ってしまった場合には、主審の合図ですぐにボールが入れられるように準備していきましょう。

5. 判定に関すること

- (1) 主審は、笛を吹くと同時に、腕でどちらのボールかを示してください。
- (2) どちらが有利な状況かを考えながら見ると、ファウルがとりやすくなります。
- (3) 自信をもって判定してください。選手や観客の意見で判定が変わるようなことがないようにしましょう。
- (4) 「警告となる違反」をよく覚え、イエローカードをしっかりと出しましょう。イエローカードの対象となるファウルの一つに、「相手の大きなチャンスとなる攻撃を妨害、または阻止するためのファウル」があります。このようにファウルが起きたときに、イエローカードが出せないことが多いです。
- (5) 特に、ゴール関係で何か起きた場合には、主審は自分だけで判断せず、そのサイドの副審のところに確認に行きましょう（お互いに見た状況を話し合う）。ゴールインの判定をしても、キックオフで再開しなければ、ノーゴールにして再開することは可能です。
- (6) 選手の気持ちを考えたゲームコントロールをしてください。例えば、競っている試合のとき、負けているチームは最後に夢中で攻めてきます。正しい判定、警告などで、けが人が出たり、試合が荒れたりするのを防ぎます。また、勝っているチームのゴールキックを早くさせたり、オフサイドのキックは適当な場所からさせたりと時間を無駄に使うようなことがないようにします。
- (7) 審判員として、正しい言葉を使いましょう。「×ルールブック→○競技規則」「×ロスタイム→○アディショナルタイム」「×PK戦→○ペナルティーマークからのキック」などです。